



「血液検査(血算)」について

～採血の数値からわかる、血液の中の“細胞たち”のヒミツ～



● 血算(CBC)ってどんな検査？

健康診断や病院の診察、あるいは入院時などで広く行われている「血液検査(血算)」。

私たちの体の中を流れる血液には、酸素を運んだり、侵入してきたウイルスから体を守ったり、ケガをした時に血を止めたりする、生きるために不可欠な役割があります。



● 血液の主役！3つの細胞の働き

1. 赤血球(RBC)って何？



- 主な働き：肺で取り込んだ酸素をキャッチし、全身のすみずみの細胞へ運ぶ「宅配便」のような働きをしています。赤血球に含まれる「ヘモグロビン」という鉄分を含むタンパク質が、酸素と結びつくことで血液は赤く見えます。
- 少なくなると…(貧血)：体が酸素不足になり、**疲れやすい、だるい、息切れ、めまい、立ちくらみ**などの症状(貧血症状)が現れます。
- 多すぎると…(多血症)：血球が増えて血液自体がドロドロになり、血管が詰まる「**血栓(けっせん)**」が起きやすくなるリスクがあります。

2. 白血球(WBC)って何？



- 主な働き：体内に侵入してきた細菌やウイルスなどの病原体(異物)を攻撃して退治する、体の中の「警察官(免疫)」の役割をしています。
- 増える原因には…：体のどこかで**細菌感染や炎症**が起きているとき、戦うために白血球が急増します。また、強いストレスや喫煙などでも数値が上がることがあります。
- 少なくなると…：病原体と戦う数が減ってしまうため、免疫力が低下し、普段ならかからないような感染症にかかりやすくなったりするため注意が必要です。

3. 血小板(PLT)って何？



- 主な働き：ケガをして出血した時に、傷口に集まってカサブタを作り、血を止める「修復職人(止血)」の細胞です。
- 少なくなると…：出血したときに血が止まりにくくなります。日常では「**あざ(紫斑)**」が**できやすい**」「**鼻血が止まりにくい**」「**歯ぐきから出血しやすい**」といった症状がサインとして現れます。
- 多すぎると…：不必要な血栓を作ってしまう原因になることがあります。

● 主な血算の項目

項目	英語略称	主な内容・わかること
白血球数	WBC	体の中の免疫・防御システムの状態(感染や炎症の有無)
赤血球数	RBC	血液中の酸素を運ぶ細胞の数
ヘモグロビン	Hb	赤血球の中にある酸素と結合している「中身(タンパク質)」の量。 貧血の最重要指標です。
ヘマトクリット	Hct	血液全体に対して、赤血球が占めている「割合」
MCV	MCV	赤血球の「1個当たりの大きさ」の平均値
MCH	MCH	赤血球の「1個あたりに含まれるヘモグロビン量」の平均値
MCHC	MCHC	赤血球の「容積に対するヘモグロビン濃度」の割合
血小板数	PLT	出血を止めるための細胞の数



● さらに深掘り！ヘモグロビンと「MCV」って何？

健康診断などで「貧血の疑い」と言われたとき、一番に見るべきはヘモグロビン(Hb)の数値です。ヘモグロビンが低ければ貧血と診断されますが、その「原因」が何なのかを突き止めるために使われるのが「MCV」という項目です。

● MCV が小さい = 赤血球が小粒で薄い(小球性低色素性貧血)

もっとも一般的な貧血で、主に「鉄不足による貧血(鉄欠乏性貧血)」が疑われます。

赤血球の材料である鉄が足りないため、小さな赤血球が作られるようになります。それに伴って赤血球の中身の成分であるヘモグロビン(Hb)も減少してしまいます。

● MCV が大きい = 赤血球が大粒(大球性正色素性貧血)

赤血球の成熟に必要な「ビタミン B12 や葉酸が不足」している為、通常は成熟するにつれて小型になっていくはずが、大きいまま成熟が止まってしまいます。また中身の成分であるヘモグロビン(Hb)も成熟不良に伴い減少してしまいます。

医師は、単に「血が薄い」ということだけでなく、これらの細かい数値をジグソーパズルのように組み合わせることで、「何が原因で貧血が起きているのか」を正確に見極め、正しい治療法を考えています。

● 最後に

血液検査の結果は、一見するとただの数字の羅列に見えますが、私たちの体の状態をリアルタイムで教えてくれる貴重なメッセージです。体質やその日の体調、一時的な水分の摂取量などによっても数値は変動します。しかし、数値の裏には細胞たちの頑張りの、体からの小さな SOS が隠れていることがあります。健康診断で「要経過観察」や「要精密検査」の判定が出た場合や、気になる自覚症状(長引く体のだるさ、あざがしやすい等)がある場合は、医療機関へ相談してください。

「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ(インターネット)で公開しています。
ご参照ください。ホームページアドレス <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

